

佐藤 直也さん（昭和52年卒）

株式会社 マルサ 代表取締役社長

◇お仕事の内容を教えてください

循環型社会の形成に貢献する、というビジョンのもと、産業廃棄物処理事業、資源リサイクル事業、建物解体処理事業、物流管理事業を行う企業を経営しています。事業の性質上、お客様から様々な相談や注文が入りますが、「社会貢献」、「新しいことへのチャレンジ」、との思いを持って取り組んでいます。

また、経営者として、従業員を育てる・大切にする、との思いから、（この2年間はコロナ禍の影響で実施していませんが）他社の工場見学や忘年会・新年会等を行っています。



◇仕事を通じ、どんなことに喜びを感じますか

お客様に喜んで頂けることに喜びを感じる、それが何より一番ですね。また、番外編の話になりますが、小学校の工場見学の多い時は年間800名ほど受け入れている（現在はコロナ禍で実施していない）んですが、従業員の子で「お父さんの会社で働きたい」との思いを作文に書いた子が数名いたと聞き、嬉しかったですね。

◇将来の夢を教えてください

今年で会社創立86年になりますが、100年、150年と残れる企業作りを目指したいですね。そのためには引き続き、地域貢献との思いを持って事業を実施していきたいと考えています。

プライベートではアウトドアが好きなので、まとまった休暇を取って、キャンプしたり、釣りしたり、温泉旅行に行ったりしたいですね。

また、後継者を育成するとの思いで、他社で働いていた息子を今年入社させ修行させています。社員とのコミュニケーション等、自分の背中を見て覚えて欲しいと願っています。マニュアル化が主流の現代ですが、マニュアルでは身につかない人の心を大事にする姿勢を身に付けて欲しい、と思っています。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

部活動は、剣道部に所属しましたが、二段を目指す試験前に足を怪我し正座が出来なくなり辞めることにし、2年次からラグビーを始めました。ラグビーは個人競技と違い、個々の選手が個々の役割を果たしながらもチームとして組織的に勝利を目指す、皆で体をぶつけ合う、という本当に楽しいスポーツでした。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

何かに興味を持ち、それにチャレンジして欲しいし、殻を破り行動して欲しいですね。

自分の人生を振り返ってみても、もともと家業を継ぐつもりはなかったんですが、ある事情で引き継ぐことを決心し会社を発展させて来ました。これもチャレンジした結果です。また、北上市の商工会議所の副会頭を務めて6年になりますが、これも北上市の経済界の方々から「次はお前だから準備しておいて欲しい」と言われ、「そんな重職、自分に出来るのか」との不安もありましたが引き受けました。これもチャレンジですね。副会頭の仕事は県内の商工会議所の会頭や副会頭の会議や、東北管内の大会、全国の大会

等への出席等になりますが、色々な方々との交流を通じてとても勉強になると感じています。

また、冒頭で触れた、お客様からの型にはまらない様々なご依頼・要請を受けるという仕事も手がかかるものですが、これもまたチャレンジであり、チャレンジの繰り返しで自分は成長出来たと感じています。

☆取材後記

驚きました。「器の大きな方」でした。自社の経営だけでなく、北上商工会議所の副会頭をはじめ多くの役職を担っておられる佐藤さん。超多忙な方なのに、予定時間を超えても続く私との雑談を切り上げようとなさらず、1時間以上も語って下さいました。(もっと早く私から切り上げねばなりませんでした。本当に申し訳ありませんでした。)

また、地域に育てられたので恩返ししたい、との思いから、会社の利益の一部を毎年予算を決めてNPO等に寄付したり、交通安全看板を立てるための活動等も行っておられるとのことで、本校の建学の精神である「報恩奉仕」を実践されている方でもありました。(担当：Y)